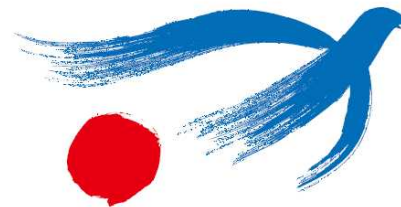


トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラムで世界へ



**トビタテ！
留学JAPAN**

その経験が、未来の自信。

**自分自身で留学プランをデザイン！
奨学金を手にも世界へ！！**

政府として、日本人の海外留学促進のため、**企業、大学等と協力して取り組みます。**

○日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)抜粋

「2020年までに日本人留学生を6万人(2010年)
から12万人へ倍増させる。」

- ・ 留学機会を、将来グローバルに活躍する意欲と能力のある若者全員に与えるため、留学生の経済的負担を軽減するための寄附促進、給付を含む**官民が協力した新たな仕組みを創設**する。

1. プログラムの4つの特徴

2. 留学の流れ

3. 新しい選考方法・重視される点

4. 留学プランの作り方

5. 大学とのやり取り

6. 補足

1. プログラムの4つの特徴

1. 1 広義な留学

1. 2 事前・事後研修

1. 3 国費の倍額以上・
より充実した奨学金

1. 4 帰国後のコミュニティ

A photograph of graduates in black gowns and stoles, celebrating with their caps in the air against a clear blue sky. The scene is outdoors, likely at a graduation ceremony. The graduates are looking up, and their caps are flying through the air, creating a sense of joy and achievement.

1. 1 広義な留学

1. 1 広義な留学(従来の留学との比較)

従来の国の支援する留学

- ✓ 学問留学
- ✓ 単位や学位認定が必要
- ✓ 大学がプログラムを用意

本プログラムにおける留学

- ✓ 学問留学以外も可
 - ✓ 海外インターンや海外ボランティアも可
- ✓ 単位や学位に認定されないものでも可
 - ✓ フィールドワークやイベントを開催する等の活動も可
- ✓ 自分でプランを組み立てることができる

**自分自身で留学プランをデザイン！
奨学金を手にも世界へ！！**

1. 1 広義な留学(本制度による4つのコース)

自然科学系、
複合・融合系
人材コース

新興国コース

世界トップレベル
大学等コース

多様性人材コース

※応募の際は4つのコースから1つを指定

自然科学系、複合・ 融合系人材コース

工学、農学、医学等の理系分野における
留学を支援。先端領域における研究等特
徴のある取組を支援。

(ex.)

研究開発、フィールドワーク、インターンシップ

※自然科学系分野、複合・融合系分野での新興国、世界トップレ
ベル大学等に留学するプランはこのコースで応募。

新興国 コース

今後成長が期待される新興国(アジア等)
への留学(多様な活動)を支援。

(ex.)

インターンシップ、ボランティア、
現地語の習得、異文化理解

※人文・社会系分野が対象。

世界トップレベル 大学等コース

世界トップレベルの大学などで、世界中から集まった優秀な学生とせめぎあいながら、高度な教養や専門を身につけることを目的とした留学を支援。

(ex.)

学修、研究、フィールドワーク、インターンシップ

※人文・社会系分野が対象。

多様性人材 コース

各々の分野において、世界を視野に、社会に影響を与えていきたいという意欲のある人材が行う留学を支援。

(ex.)

スポーツ、芸術、政治、行政、教育、メディア、
国際協力、復興支援、観光、ファッション、
日本文化(古典芸能、和食等)等の多様な分野

The background of the slide features a series of dark blue silhouettes against a lighter blue gradient. At the top center is a graduation cap. Below it, a line of seven graduates in academic regalia is shown. From left to right: the first graduate is at a podium with a microphone; the second, third, and fourth graduates are standing in a row; the fifth graduate is standing; the sixth graduate is standing; and the seventh graduate on the right is holding their cap high in the air. The text '1. 2 事前・事後研修' is overlaid in white on the center of the image.

1. 2 事前・事後研修

事前研修(渡航前)

【予定研修内容】

- ・海外留学の意義醸成
- ・アクションプラン作成・共有
- ・チームによるテーマ研究

事後研修(帰国後)

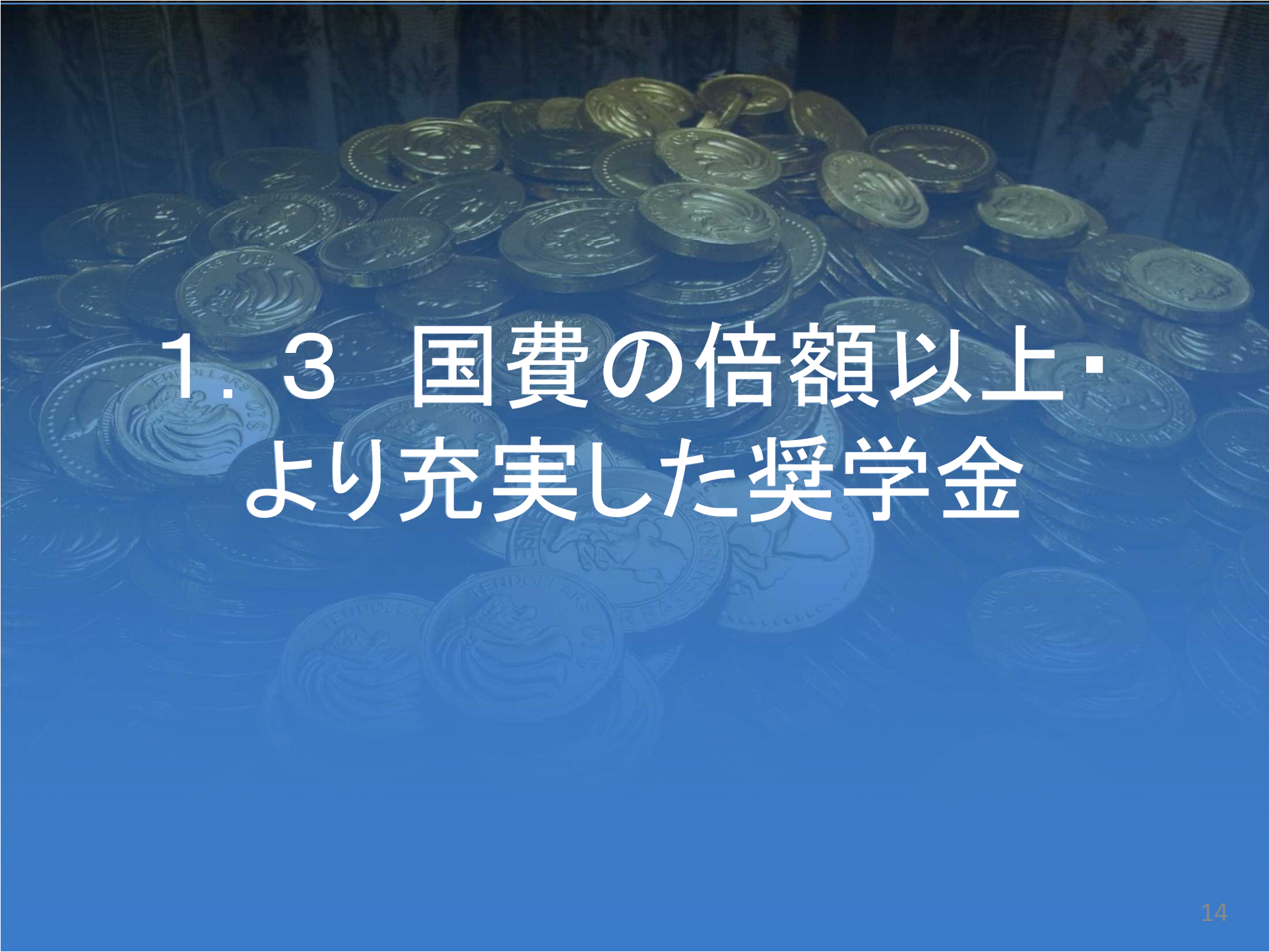
【予定研修内容】

- ・留学体験の振り返り
- ・今後の学生生活における目標設定
- ・チームでの活動設定

**企業が今求める人材像を知り、
将来の自分のイメージを知る機会**

全国から集まる優秀な人材との交流

**事前研修、事後研修ともに民間企業の社員や
現役グローバルリーダーが関わる予定**



1. 3 国費の倍額以上・ より充実した奨学金

1.3 国費の倍額以上・より充実した奨学金

従来の国の奨学金

【金額】

月額6～8万円

【学費】

短期なし

※所得制限が厳しい

(経済的に厳しい家庭を優先)

<参考> 第二種奨学金の家計基準

(単位: 万円)

区分		年収・所得の上限額	
		給与世帯	給与以外世帯
大学	国・公立	1,175	689
	私立	1,223	737
短大	国・公立	1,160	674
	私立	1,207	721
高専 (4・5年)	国・公立	1,133	647
	私立	1,159	673
専修 (専門)	国・公立	1,130	644
	私立	1,193	707
大学院	修士課程	(本人及び配偶者の収入) 536	
	博士課程	(本人及び配偶者の収入) 718	

※平成26年度在学採用、4人世帯、自宅通学 の目安

本プログラムにおける奨学金

【金額】

月額**12～20**万円

【学費等】

30万円を上限に支給

→留学先の授業料、プログラム参

加費等

※ 国費よりも所得制限が緩やか!!

※ 新しい海外留学支援制度の奨学金は、従来の国費による奨学金に比べて手厚い支援を受けることができることに加え、所得制限が緩やかに設定されているという特徴がある。

所得制限は、(独)日本学生支援機構の第二種奨学金の家計基準を満たすことが必要であるが、様々な要件があるため、まず大学担当に確認を。



1. 4 帰国後のコミュニティ



1. プログラムの4つの特徴

2. 留学の流れ

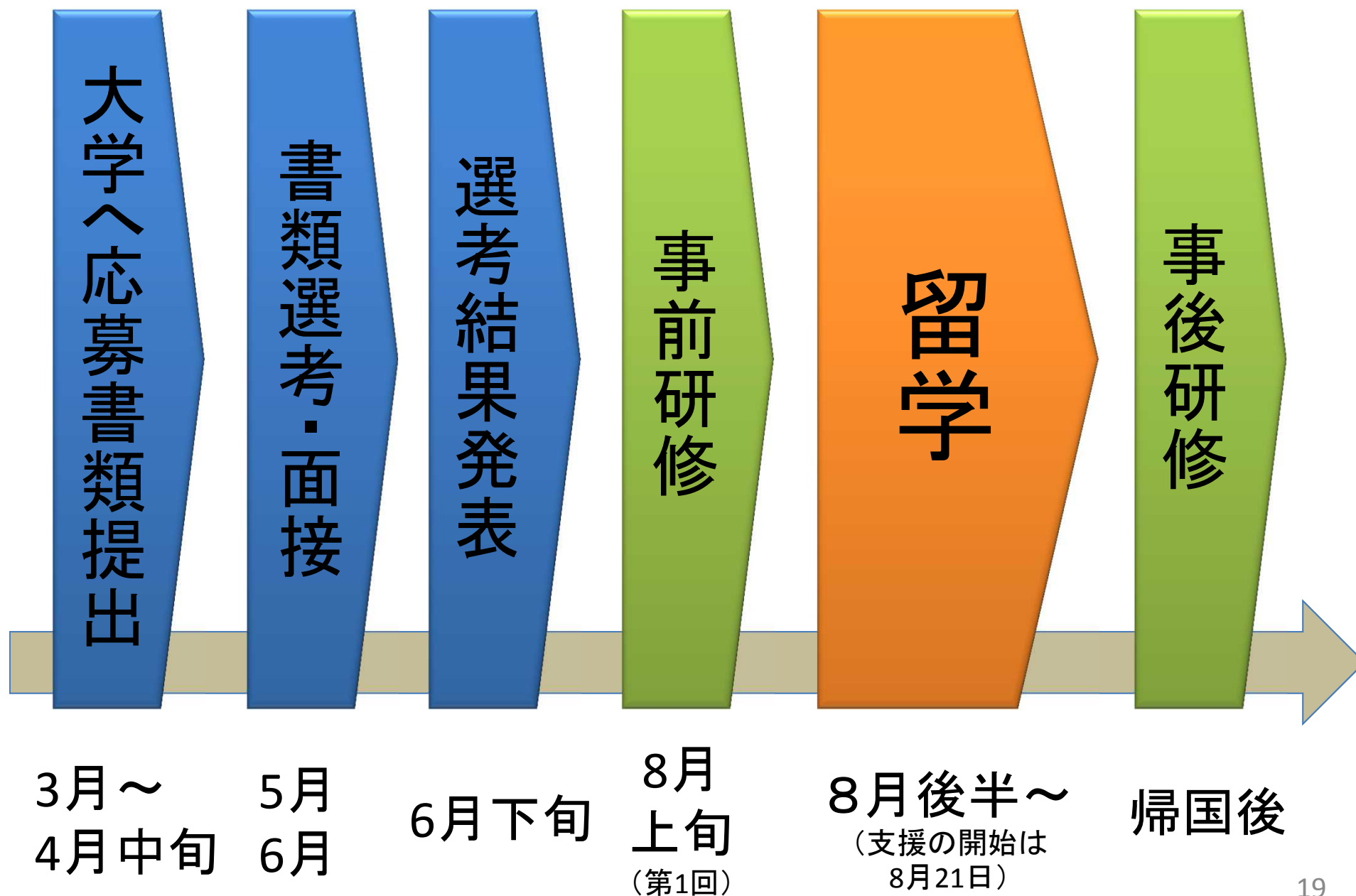
3. 新しい選考方法・基準

4. 留学プランの作り方

5. 大学とのやり取り

6. 補足

2. 留学の流れ



1. プロジェクトの4つの特徴

2. 留学の流れ

3. 新しい選考方法・基準

4. 留学プランの作り方

5. 大学とのやり取り

6. 補足

従来の選考

- ✓ 成績・語学力を重視
- ✓ 大学が学生を選考するプログラムがほとんど。

本プログラムの選考

- ✓ 明確な目的や計画の質および実現性を重視（成績は選考基準ではない）。
- ✓ 選考は、民間企業の人事担当者も加わる文部科学省の選考委員会が行う。

①留学計画のクオリティ

②求められる素養
(個人の情熱と能力)

A baby wearing a white shirt, a dark vest, and a patterned tie is sitting on the floor, pointing at the screen of an open laptop. The entire image is overlaid with a semi-transparent blue filter. The text '①留学計画のクオリティ' is centered over the baby's torso.

①留学計画のクオリティ

学修・実習の目的・達成目標

- ・明確に設定されているか？
- ・水準は適切か？

等

学修・実習の内容

- ・目的との整合性はとれているか？
- ・必要な語学力を得ることができるか？

等

留学後の成果

- ・将来的にわたって留学で得た成果を活用するビジョン、取組となっているか？

等



②求められる素養

世界の人々との交流を通じた経験から何かを得ようとする意欲

社会のために何かしたいという高い志

自らの志を具体化するための思考力と行動力

失敗してもめげない強い精神力

様々なことに好奇心、探究心を有し、未知の領域に対しても
果敢に挑戦する姿勢

集団活動においてイニシアティブをとり、周囲を巻き込む能力

1. プログラムの4つの特徴

2. 留学の流れ

3. 新しい選考方法・基準

4. 留学プランの作り方

5. 大学とのやり取り

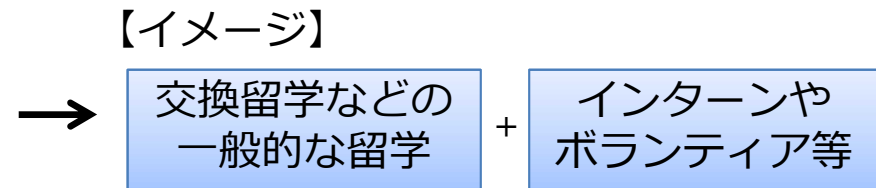
6. 補足

4.1 留学プランの作り方 ～プラン作成の3つの例～

Ex.1

大学等パッケージ活用型

海外大学での授業受講や語学学習などの一般的な交換留学の後に実践的な内容を含むプログラムを活用した留学プラン



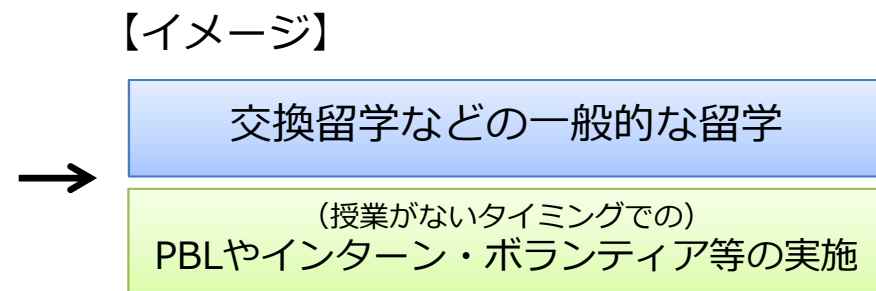
大学計画プログラム

個人計画プログラム

Ex.2

個人補強型

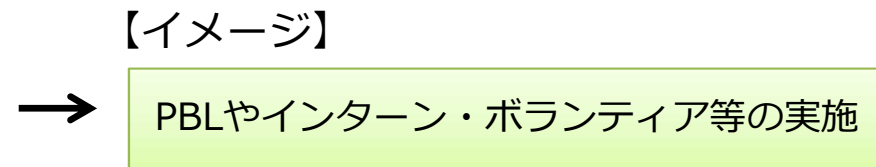
既存の留学プログラム（協定OR私費）を活用するが、自主的に企画し、関係機関に働きかけを行い、授業がないタイミングでインターンやボランティアの実施する留学プラン



Ex.3

完全個人計画型

大学の資産を活用せずに、個人が企画、手配を行う留学プログラム

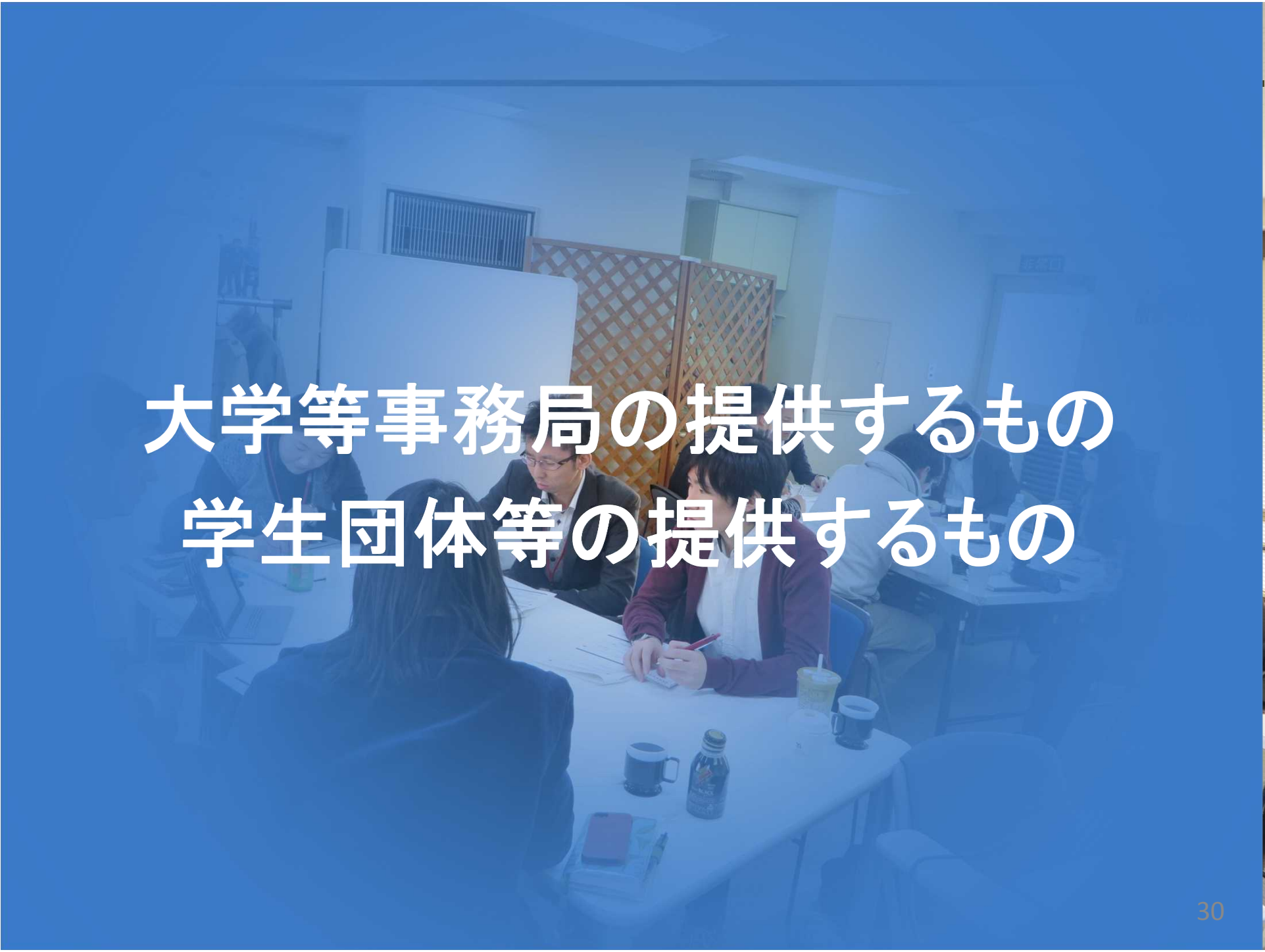


大学等事務局の提供するもの

学生団体等の提供するもの

教員が持っている
コネクション

企業等が独自に提供するもの



大学等事務局の提供するもの 学生団体等の提供するもの

大学等事務局の提供するもの

- 大学のキャリアセンター、就職課
などに相談
(留学生担当とは別組織の場合もある)

学生団体等の提供するもの

- AIESEC、BIZJAPAN等、海外インターンシップや海外体験の場を提供する団体に相談



教員が持っているコネクション
企業等が独自に提供するもの

教員が持っているコネクション

- 学内の研究室や研究者（教員）個人が持つ人脈・ネットワークを活用

企業等が独自に提供するもの

- 海外事業所におけるインターンシップ
（取り扱う企業等に相談）
- 政府系機関の事業で提供されるもの
（国際即戦力育成インターンシップ、HIDA等）
- 留学エージェント等が提供するもの

1. プログラムの4つの特徴

2. 留学の流れ

3. 新しい選考方法・基準

4. 留学プランの作り方

5. 大学とのやり取り

6. 補足

大学事務局

- 留学センターや、国際交流課などの国際関係部局
- 学生課、教務課、総務課などの学生部局 等

【その他の協力主体】

教職員

- 学内の研究室や担当教職員(国際交流担当等)へ留学プランの相談、ブラッシュアップへの協力を依頼

文部科学省

- 大学から問合せの質問について、随時回答
- 学生および学生からの質問を、ウェブサイトのよくあるご質問(FAQ)に掲載

**基本的な疑問、質問はまず大学に聞いてみよう
(内容の相談、書類の提出も必ず大学へ！)**

1. プログラムの4つの特徴

2. 留学の流れ

3. 新しい選考方法・基準

4. 留学プランの作り方

5. 大学とのやり取り

6. 補足

実施主体・大学の位置付け

- 文部科学省/日本学生支援機構が実施・運営主体。
- 応募書類は大学に提出し、学生と個別の相談を行う。その後、大学が書類をとりまとめて文部科学省へ送付。

選考の概要

- 文科省が実施、グローバル企業の人事責任者等が選考を担当。
- 書類選考の上で面接試験を実施
- 成績ではなく、留学計画の質(目的が明確か、実践型か 等)及び個人の能力・資質・熱意を重視。

実践型活動とは

- 自分の目的に沿って、インターシップやボランティア等のアウトプットの場を設定。
- 実践活動として、フィールドワークの実施、イベントの開催等も可。

留学計画の実現性等

- 明確な目的と、それに基づく留学計画とその実現性は、応募者の熱意とともに重要な選考基準。
- 但し、一部の計画について応募時に確定に至らず、調整中である場合も応募は可。

**自分自身で留学プランをデザイン！
奨学金を手にも世界へ！！**

